News Release

2026 年 11 月 16 日
No. 2026-10

セイノースーパーエクスプレスとアートセッティングデリバリー、
埼玉県熊谷市で「拠点の共同運用」を開始
～運行便の集約と積載率の向上により、効率的で持続可能な物流体制を構築～

セイノーホールディングス株式会社（本社：岐阜県大垣市、代表取締役社長：田口義隆）傘下のセイノースーパーエクスプレス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：平井克昌、以下「SSX」）と、アートセッティングデリバリー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：寺田秀樹、以下「ASC」）では、2026 年 11 月 15 日より、ASC 熊谷支店が SSX 熊谷航空営業所内に入居し、両社による拠点の共同運用を開始しました。

本取り組みでは、両社の拠点を同一施設内に集約し、施設スペースの共有に加え、一部の運行業務を共同で実施します。両社の運行便を効率的に活用することで、運行便の集約と積載率の向上を図り、輸配送ネットワークの効率化を目指します。

背景・目的
物流業界では、ドライバー不足や「2024 年問題」に伴う労働時間規制への対応に加え、輸送効率の向上や環境負荷の低減が課題となっています。
SSX と ASC は、2026 年 7 月より、家具・家電などの大型商品の集荷から配送、開梱、設置までを一貫して提供する「大型宅配便」サービスを開始するなど、両社の連携を強化してきました。
今回、熊谷地区において拠点を共同利用し、両社の運行便を効率的に活用することで、限られた輸送リソースの有効活用と、より効率的で安定した輸配送体制の構築を目指します。

共同拠点による主な取り組みと期待される効果

1. 運行便の集約による輸送効率の向上
両社の運行便を共同で活用し、運行計画を最適化することで、一部の運行便を集約します。これにより、輸送リソースの有効活用と運行の効率化を図ります。

2. 積載率の向上
運行便の集約により、対象となる運行便の平均積載率は、共同拠点の運用開始前に比べ、およそ 7%上昇する見込みです。積載効率を高めることで、限られた輸送力をより有効に活用します。

3. 環境負荷の低減
運行便の集約や輸送効率の向上を通じて、車両の稼働の最適化を図り、CO_2排出量の削減につなげます。

セイノースーパーエクスプレス株式会社
〒135-0053
東京都江東区辰巳３丁目１０番２３号
ウェブサイト；https://www.seino.co.jp/ssx/

～リリースに関するお問い合わせ～
電話番号　；050-5292-3161
メールアドレス　；ssx0978@ssx.seino.co.jp
担当　；広報課　中村

◆ 今後の展開

今後は、熊谷地区での共同拠点の運用状況や効果を検証しながら、運行業務の連携や拠点の共同利用について、他地域への展開も検討してまいります。

SSX と ASC は、両社のネットワークと専門性を生かした連携を通じて、物流の効率化とサービス品質の向上に取り組み、お客さまの多様なニーズに応えてまいります。



熊谷航空営業所事務所棟外観

セイノースーパーエクスプレス株式会社
〒135-0053
東京都江東区辰巳３丁目１０番２３号
ウェブサイト；https://www.seino.co.jp/ssx/

～リリースに関するお問い合わせ～
電話番号　；050-5292-3161
メールアドレス　；ssx0978@ssx.seino.co.jp
担当　；広報課　中村